清瀬市立清瀬第三中学校　◇◇一人一人が輝く三中◇◇

学校だより6月号

〒204-0002
清瀬市旭が丘1-262
Tel 042-493-6313
学校HP QRコード

『生き抜く力』の育成を目指した学校経営より～読書活動の推進に向けて～

令和７年度の学校経営計画では、「生き抜く力」の育成を目指し、前号でデジタルを活用した学びについて学校経営の①「考える力」を学べる学校（思考力・判断力・表現力の育成） ②誰一人取り残すことのない学校づくりの手立てとして課題、方策を示しました。今回は、①「考える力」を学べる学校（思考力・判断力・表現力の育成）から学校図書館の利活用について、今年度本校での図書館運営の活性化の取り組みについて紹介します。年度当初の朝礼で図書館推進委員担当主任から本の豊かさ朝読書の進め方などの説明し、５月の全校朝礼の校長講話では、「本の楽しさ」「読書の力」についてスライドを使用して話しました。

＜校長講話一部抜粋＞

まず、みなさんにとって「本」とはどんな存在ですか？勉強のためのもの？朝読書のために？それとも、暇つぶし？もちろん、それも間違いではありませんが、本の魅力は、それ以上にあります。本は、ただの文字の集まりではなく、私たちの心や思考を広げてくれる大切な「扉」のようなものと考えてください。本の楽しさ、魅力、良さについて、本の好きな人は頷けることは多いと思います。反対に本を読まない人、読むのが苦手な人は、ピンとこないし自分には関係ない、興味がないと思うかもしれません。

＜一部省略＞

今では、ネット、SNS などからの動画、映像からあらゆる全ての知識を得ることができるのかもしれません。では、ここで、本・読書の良さ・メリットと動画・ネットの良さ・メリットを考えてみましょう。まず、本・読書の良さ・メリットは、・語彙力が身につく ・読解力が育つ ・論理的な思考力が育つ・集中力が鍛えられる・いろいろな知識が得られる・想像力が豊かになる

次に、動画、ネットの良さ・メリットは、・「視覚」「聴覚」の両方から情報を受け取れる・スキマ時間で学べる・手軽に学べて継続しやすい・動画を何度も繰り返し視聴できる・倍速再生し、気になるところだけ普通再生など・・・

どちらも良さ・メリットがあります。本の方がネットよりも素晴らしいと言いたいわけでありません。しかし、本・読書の良さは、ネットや動画では得ることは難しいでしょう。将来 AI や IOT などで今ある仕事の多くが AI 等の機器に変わっていくといわれています。そして様々な自然災害、感染症なども含め予測不能な社会が待っているのも否定できません。

そのような社会を生き抜いていくための力は、読書から生まれる力であり、より深く思考し、判断し、表現していく力、そして考える力こそが、これからの時代には必要となります。

毎日、忙しく生活している皆さんだからこそ、今日からスマホだけの生活から本を読むための時間を作ってみてはどうですか？

校長講話の最後に、清瀬市の「図書館の宅配サービス（おうち図書館）」の動画を流し、手続き方法についても説明しました。

また、５月の１年生の国語の授業では、図書館オリエンテーションを行い貸し出し・返却方法や本の探し方などの学習を行いました。さらに、英語の授業では、英語の本の紹介、読書の楽しさなどを学習し、図書館を活用した授業も学校図書館支援員の力を借りて進められています。

その他にも読書活動及び図書館運営の活性化への取り組みを計画しています。一例として朝読書の時間の確保、移動図書館等の環境づくり、朝礼等でのベストリーディング賞（多読賞）の表彰、おすすめ本等のブックトーク、図書給食等があります。生徒が主体的に取り組んでいる図書委員会や定期的に協議している教員の図書館推進委員会が中心となって進めています。今年度も調べる学習コンクールやビブリオバトルにも積極的に参加する予定です。

年度	生徒数（人）	年間貸出冊数（冊）	平均貸出冊数（冊/人）
R４	310	1,287	4.2
R５	353	1,558	4.4
R６	365	1,981	5.4

さらに、過去の年間の本の貸出数及び一人当たりの貸出数は、コロナ以降少しずつ上昇しています。令和７年度は、2500 冊を目標に、読書活動の推進により思考力・判断力・表現力の育成を図っていきます。

【６月の安全指導・避難訓練向けて】

―　自助・共助・公助　―

６月１８日（火）に火災を想定した避難訓練を行う予定です。今回は１階の調理室からの出火を想定して、校庭へ素早く安全な経路を通って避難をするという訓練を行います。

さて、防災対策や災害対策を考えるとき、「自助」「共助」「公助」という考え方があります。

「自助」とは自分の命を自分で守ること。「共助」とは町内や地域で助け合うこと。そして「公助」とは自治体をはじめ警察や消防、ライフラインを支える各社などによる応急・復旧対策活動のことです。

東京消防庁の救助活動の統計によると、平成７年１月１７日に発生した阪神淡路大震災では、倒壊した家屋に閉じ込められた人が誰に助けられたかという質問に対して「自助」は６６．８%、「共助」は３０．７%、「公助」は１．７%、「その他」は０．９%、という結果でした。「自助」と「共助」を合わせると、実に９７．５%の住民が住民同士の助け合いで助かったと答えていること、一方で、救助隊に助けられた人は、わずか１．７%に留まっているということが分かります。この数値が示す通り、発災直後は「公助」である消防機関では、とても手が足りていないことが分かります。

突然の災害時に、自分を守る事（自助）ができれば、周りにいるあなたの大切な人を助ける事（共助）ができるかもしれません。もしもに備えて、日頃からしっかり訓練に取り組み、自分の命を守る行動が取れるようにしましょう。

6月の予定

２日(月)　運動会振替休日

３日(火)　雨天のため運動会延期

４日(水)　第５８回運動会

５日(木)　学納金引落日　眼科検診

６日(金)　⑥カット　専門委員会　中央委員会

９日(月)　全校朝礼　安全指導（運動会雨天時）

１３日(金)教育実習終　漢字検定

１４日(土)授業公開　下校訓練

①進路説明会３学年

１６日(月)生徒会朝礼　プール時間割始

１８日(水)水泳指導①②３学年、③④２学年　職員会議

２０日(金)F 組上級学校訪問

２５日(水)期末考査（国語・保体・美術）市教研

２６日(木)期末考査（英語・社会・技家）

２７日(金)期末考査（理科・数学・音楽）

３０日(月)復習確認テスト２学年、３学年

教育実習生が来ています！

５月２６日（月）から６月１３日（金）の期間、教職を目指す４名の学生さんたちを受け入れ、教育実習を行っています。教科は、数学、英語、国語、保健体育です。

約３週間、様々な授業に参加したり、運動会の練習に参加したりしています。

今後は、実際に教壇に立ち、生徒たちに授業を行います。多くの生徒たちと関わりながら、教職について学んでいきます。